



2020年（平成32年度）は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、小学校では新しい学習指導要領が本格的に実施される年です。今年度は、学習指導要領の改定について「周知・徹底」の年度となっています。10年後（2030年）の子供たちの姿を目指して、その時に必要な力を身に付けさせるために、これまでの学習指導要領を見直し改定することになったのです。今年度を含めた3年間で、少しずつ移行に向けた取組をしていきます。

本校の基本的な経営方針は変わりません。今年度も「命の大切さ」を基本に、子供たちの「知・徳・体」のバランスのよい成長を目指し、教育活動の継続・充実を図っていきます。

以下の点についてご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 個人情報の適切な取扱いについて

- (1) 個人情報に関わるプリントやアンケート等は、「児童名が書かれた茶封筒」に入れて配布・提出する。
(1年間使用するので、必ず担任へ返却)
- (2) 各学級の連絡網は配布しない。(学校安全・安心メールを使用)
- (3) 児童名簿を配布する。(保護者が管理)

2 通学路について

工事中の都道（調布3・4・17号線）の完成が間近となっている。「横断歩道のない斜めに横切る市道路」は危険なため、通学路を変更する。今後、児童の通学状況を確認した上で都道の開通前に決定する。

3 校舎増築について

- ・児童数の増加に伴い、体育倉庫の方に校舎増築の予定である。(完成は1月頃)
- ・ユーフォーや体育館の改修工事は、次年度となる予定。

4 運動会について

- (1) 「組み体操」について（調布市教育委員会の方針）

- ①「ピラミッド（児童・生徒が四つん這いの姿勢になり、他児童・生徒の背部に乗って重なる技）」及び「タワー（複数の児童・生徒の背部に足を乗せ、立ち上がる技）」の技は、禁止とする。
- ②技の上部に位置する児童が、およそ2m以上の高さになるような技（肩車、サボテン等）について禁止とする。

- (2) 走競技について…男女別で走らせる。最初は女子、終了後に男子。
- (3) リレーについて…中学年リレー(3・4年生)と高学年リレー(5・6年)とする。
- (4) 昨年度と同様に保護者は「立ち見」とする。但し、体育館の他に、家庭科室、和室(小さい子供・赤ちゃん用)も全日開放する。その他に、昼食時は、各教室、ユーフォー室も開放する。(和室は授乳用とするが、昼食を食べることはできない。)
- (5) 敬老席は75歳以上とし、座席数の上限、申し込み方法等を決めた上で募集する。

5 災害時の児童の下校方法について…学校からの緊急連絡は、安全・安心メールで行います。(登録を)

- (1) 震度5以上の地震が調布市で発生した場合、地震の警戒宣言が発令された場合、災害等で交通機関が全面ストップした場合、近隣で凶悪事件等が発生し危険と判断した場合は、保護者への引き渡しを行います。児童は保護者の引き取りがあるまで学校で預かります。→4/22(土)防災教育の日
- (2) 台風等の風水害被害が予想される場合は、安全に下校出来ることを確認の上、集団下校を行います。

6 その他(お願い)

- ・匿名の電話には答えることが出来ません。
- ・不審者等の情報は、第一に「110番」です。

また、子供たちの様子を見て、以下のことが大事であると考えました。

【1・2年生】

- 学校に毎日来ること。集団生活の中で学ぶことの継続が大事。→3日連続で休んだときは要注意。
子供に根負けしない。
- 入学前までの生活経験の影響が大きい。→最初は、着替え・食事などの個人差が大きい。
- 生活体験を豊かにする、手先を動かすことをさせる。→輪ゴムで束ねる、リボン結び、かさの始末…
- 日常生活の中に学びの機会がある。→時計の見方、合わせていくつ・残りはいくつ…
- 自分の物と他の人の物とを区別させる。
- うそをつかないようにさせる。正直に話したことを認めていく。
- 小さなことでも自分で決めさせる。自分の考えをもたせ、選択させていく。そして、自分で決めたことが出来たらほめる。これらを繰り返していくことで、自己肯定感を高めていくことが出来る。

【3年生】

- 万引き、家庭のお金を持ち出して友達へのおごるなどが起こる。→子供の持ち物を確認する。家庭でお金の管理をしっかりとする。お金の使い方等のルールを決める。
- 学校で使うものはシンプルな物にする。→トラブルのもとになる。
- 学校以外でのトラブルが増える。近隣住民からの苦情が増える。(公共の施設への落書き、他人の敷地・家・マンション等への出入り等) →「法」に触れることを教える。
- 一面的なとらえ方をするので、多面的な物の見方を教えていく。
- 後半になると、友人関係でのトラブルが多くなる。→解決の方法を教えていく。

【4年生】

- 友達関係が深まる反面、友達の顔色をうかがうようになる。自分の立ち位置を気にする。友達の言動に流されず、自己の判断が出来るようにする。
- もののとらえ方(見方)、トラブルのかわし方を教えていく。
- SNSの利用のトラブルが起こる→家庭ルールを決める。「わかばっ子」のファイルに入れてある「SNS東京ルール」を参考にする。

【5・6年生】

- 自己判断力を身に付ける。(自己責任が生じる) →自分で考え判断させる。
- 心を見る目(想像力)を身に付ける。→多面的な物の見方・とらえ方を学ばせる。
- 子供の実態、能力に応じたことをさせる。→親の思い通りに子供を追い込まない。
- 私学受験に合格することが最終ゴールとならないようする。

我が子の現状を見極め、些細な変化も見逃さないようにしてください。

目指す児童像【自ら考え、共に学び合う子】

具体的な方策として、

●自ら学ぶ力・協働できる力・継続する力の育成 (じぶんでする・みんなとする・つづける)

●学校生活の基礎・基本の習得

「あいさつをする」、「話をきく」、「時間を守る」、「仕事をする」、「人の嫌がることを言わない・しない」の5つのことを努力させていきます。

知 確かな学力のために

★学習の準備・・・学習に必要なものは持ってきません。

○筆箱の中身を確認してください。(筆記用具については全学年・学級とも共通)

★言語活動を通して・・・考える力とコミュニケーション能力の育成

○表現力(「書くこと」「話すこと」)の育成を目指した校内研究を継続します。

○国語辞典を活用していきます。(3年生以上はマイ・ディクショナリ)

○子供と対話をしてください。

★朝学習の工夫

○国語タイム(火)では、子供たちの書く力を育てるための取組を継続します。(全学級教室掲示)

○おはよう読書(水)や保護者による読み聞かせ(金)で、本に触れさせる機会を増やします。

★家庭学習の習慣づくり・・・学年×10分

○「**学年×10分**」の家庭学習を進めていきます。(宿題が早く終わったら、読書や自学学習を。)

低学年・・・親子共同学習

- ・家庭学習の習慣づくり・・・「決まった時間に、決まった場所で、続けること」。
- ・「勉強は楽しい」とインプット。プラスの言い方・・・「ここはいいね。」「その調子」
- ・はじめの10分は、必ず親がそばにいて見届ける。
- ・自分がやれたという体験を増やしていく。自分で出来ることを増やしていく。

親が8割、子供が2割でもよい。子供の割合をだんだん増やしていく。

中学年・・・進んで学習

- ・分からないところを放っておかない・・・復習が大事
- ・「10分×学年」の家庭学習の定着・・・クリアできるかが今後を左右する。
- ・集中できる環境づくり・・・テレビを消す、勉強する場所の周り(手の届く範囲)に勉強以外のものは置かない。はじめの10分は親を感じさせる。終わりの5分前に声かけをする。
- ・自分で決めさせ、自分でできることを増やしていく。(朝起きる時刻、夜ねる時刻、勉強を始める時刻・・・自分で決めてできるようにする。細かく指示しない方法を考える。

高学年・・・自主的に学習

- ・得意教科や特技をつくる・・・自己肯定感や自信につながる。
- ・ほめ方、伝え方を工夫する・・・周囲からの賞賛を伝える。頑張りをほめる。
- ・自分で計画を立てさせる・・・学習計画、日課表・・・
- ・本物体験をさせる・・・博物館、コンサート、イベントへの参加・・・
- ・反抗期は成長の証と捉え、子供と同レベルの言い合いをしない。落ち着いているときに、大人の話をする・・・将来なりたいことや夢、親の体験談などを話す。子供がいることを喜び、感謝の気持ちを遠慮なく話す。

★ノートは学習の足跡・・・丁寧に書くこと、書くスピードをつけることを目指します。

★テスト・・・間違えたところを確認し、確実に覚えることが大事。

徳 心を耕すために

★好ましい人間関係づくり・・・まずは「あいさつ」からです。

○きょうだい学年、道徳授業、校長講話、日常生活の中で「自分も他の人も大切に作る心」を育てていきます。

- ・年間35時間の道徳の授業の継続は、子供の心を耕します。
- ・10/7(土)・・・「人とのかわり方」(道徳授業地区公開講座) ・12月・・・「人との違い」
- ・いじめ調査の実施と対応(年3回、学期毎)

★自己コントロール力の育成

- 人とのかかわり方を学び、人の心を知るトレーニングをしていきます。
- 「自己対話力」（自分自身と対話して「我慢しよう」と自分に言い聞かせる力）を養っていきます。
- 意地悪・暴力・いじめ等、人の心や体を傷つけることに対しては、厳しく指導していきます。

★目標に向かって頑張る意志・態度の育成

- 運動会・わかばステージ・連合音楽会・グリーンフェスティバル等の行事を通して、達成感や成功体験を味わわせていきます。

★責任感やコミュニケーション能力の育成

- 係活動や当番活動、掃除等を行うことで、最後までやり通す力・責任感を養います。
- 休み時間の遊びやグループの話し合い等を通して、友達とのかかわり方を学びます。
- 「若葉小学校学校支援地域本部」の活動や地域行事等で保護者・地域の方々とのかかわり方を学び、様々な体験をします。（サマーチャレンジわかば・夏祭り・地域運動会・新春お茶会・・・）
- 「きょうだい学年」で異年齢集団とのかかわり方を学びます。

①健康で安全な生活、健やかな体づくりのために

★体力づくりの工夫・・・エンジョイスports・遊びの充実

- 総合的な体力の向上を図るため、エンジョイスportsを充実させていきます。
エンジョイスports I（持久走） 10/10（火）～10/20（木）
エンジョイスports II（なわとび） 12/1（金）～12/15（金）
- 遊びを通して体を動かす楽しさを味わわせ、日常的な遊びや体力向上へつなげるために休み時間を月1回30分にします。この日の清掃時間は10分です。
- 固定遊具の活用を進めていきます。
- 地域運動会（10/15日）に参加させていきたいと思います。

★「わかぼっ子」の活用若葉小学校の生活指導のバイブルです。どんなことが書いてあるか目を通してください

- 6年間一貫指導を目指す生活指導の記録です。「あゆみ」と共に持ち帰ります。（保護者欄の押印）
- 毎学期の振り返りを通して、各家庭と連携した生活習慣の一層の定着を目指します。
- 学校では、「月目標や週目標への取組」について指導をします。
- 月目標や・週目標として指導していること、自転車の乗り方（ヘルメットをかぶる）や校外での安全な生活（野川へは子供だけで行かない）等の学校の約束が書いてあります。

放課後、子供がどこで何をしているか知っておくことが大事です。登録するとユーザーも活用できます。

特色ある活動

★「若葉小学校学校支援地域本部」の活動の充実・・・地域の豊富な教育力を生かした教育活動の実施

- 3名の学校支援コーディネーターを中心に、次のような応じた活動をしています。
 - ・体験学習プロジェクト・・・「サマーチャレンジわかば」、「若葉の杜にホテルを飛ばそう」、「星空観察会」等
 - ・学習支援プロジェクト・・・各教科学習や学校行事等のゲストティチャーのサポート、委員会活動（理科委員会、環境美化委員会）のサポート、「算数にこにこ教室」等
 - ・環境整備・美化プロジェクト・・・ホテル池の管理、畑の草刈り、校舎内外の清掃等
 - ・安全・安心プロジェクト・・・自転車実技教室の開催、地域安全パトロール等
 - ・四中連携プロジェクト・・・四中吹奏楽部との合同演奏会、防災に関する連携（四つ葉学校防災協議会）等
- 「わかば通信」にて、活動の内容をお知らせしていきます。